

平成19年8月28日

都道府県医師会

社会保険担当理事 殿

日本医師会常任理事

鈴木 満

日本医師会 後発医薬品の使用に関するアンケート調査の実施について

今般、『日本医師会 後発医薬品の使用に関するアンケート調査』を実施することといたしましたので、ご連絡申し上げます。

日本医師会では、昨年5月に後発医薬品に対する臨床医の信頼度を確認するため、緊急調査をインターネット上で行い、本年5月に中央社会保険医療協議会（中医協）においてその結果を報告いたしました。

今回の調査では、後発医薬品の使用状況、課題等について、さらに詳細かつ広範に情報を把握し、中医協において、次回（平成20年4月）診療報酬改定に向けて検討課題とされる「後発医薬品の使用促進」を議論する上で重要な資料とするために実施させていただくものであります。

本調査は、日本病院薬剤師会のご協力の下、日本病院薬剤師会の会員が所属する全国6,661施設を対象とさせていただき、特定機能病院とそれ以外の病院に分類の上、下記のような2つの調査を実施いたします。

本調査について、貴会所属の会員施設より照会がありましたら、是非、ご協力いただきますようご高配方よろしくお願いいたします。

記

《調査①：後発医薬品の使用状況と問題点の調査》

(1) 対象

日本病院薬剤師会会員が所属する6,661施設

(2) 回答者

全病院の病院長（もしくは臨床部門の責任者）等、医薬品使用状況をご存じの医師

(3) 調査項目

医療機関プロフィール、過去2年間（2005年（平成17年）9月～2007年（平成19年）8月末）における後発医薬品使用の経験、後発医薬品を採用した理由、後発医薬品の品質・副作用・効果・供給体制・情報提供体制、処方せん様式の変更の賛否 等

(4) 調査方法

日本医師会から客体施設に直接調査票、依頼書を発送。医療機関は必要事項を記入後、返信用封筒を用いて、日本医師会に返送する。

《調査②：後発医薬品の使用についての問題事例調査》

(1) 対象

特定機能病院82施設

(2) 回答者

薬剤部長・薬局長等の薬剤部門の責任者

(3) 調査項目

過去2年間（2005年（平成17年）9月～2007年（平成19年）8月末）における問題のあった後発医薬品の品目数・問題の具体的な事例

(4) 調査方法

日本医師会から客体施設に直接調査票（CD-Rに保存）、依頼書を発送。医療機関はPC上で必要事項を記入後、電子メールで返信、または記入した調査票をプリントアウトし、返信用封筒を用いて、日本医師会に返送する。

《調査スケジュール》

平成19年 8月 末日：調査票発送（協力依頼）

平成19年 9月20日：調査票回収締め切り

平成19年10月 末日：集計・分析結果報告

(添付資料)

1. 特定機能病院以外の病院へ送付する一式

- (1) 日本医師会長名依頼文書（調査客体病院長・施設長あて）
- (2) 後発医薬品の使用に関するアンケート調査 実施要綱
- (3) 後発医薬品の使用に関するアンケート調査「調査票」
- (4) 返信用封筒（1、2共通）

2. 特定機能病院へ送付する一式

- (1) 日本医師会長名依頼文書（調査客体病院長・施設長あて）
- (2) 日本病院薬剤師会会長名依頼文書（調査客体薬剤部長・薬局長あて）
- (3) 後発医薬品の使用に関するアンケート調査 実施要綱
- (4) 調査① 後発医薬品の使用に関するアンケート調査「調査票」
- (5) 調査② 後発医薬品の使用に関するアンケート調査
問題事例調査「調査票」
- (6) 調査② 後発医薬品の使用に関するアンケート調査
問題事例調査【回答方法等の解説】